

課題番号：デブリ-302

課題名	廃炉プロセス「燃料デブリ取り出し」 検討対象「取り出し」 課題「RPV内燃料デブリ取り出し」		時間軸情報	汚染水対策				
				使用済燃料プールからの燃料取り出し				
段階	Action			燃料デブリ取り出し		1		
				PCV/RPV/建屋の解体				
ニーズ	望ましい状態とその理由			輸送・保管・貯蔵				
				処理・処分・環境回復				
			(参考) 関連する研究課題					
1	炉心及びRPV底部に存在する燃料デブリを取り出した	<ul style="list-style-type: none"> <li>●原子力損害賠償・廃炉等支援機構の戦略プランの「福島第一原子力発電所廃炉の基本方針」として自己により発生した通常の原子力発電所にはない放射性物質に起因するリスクを、継続的かつ、速やかに下げることが記載されている。</li> <li>●福島第一原子力発電所のリスクを低減させるためにはリスク源として特定されているRPV内に存在する燃料デブリを取り出すことが望ましい。</li> <li>●また、燃料デブリ取り出し方針として気中工法におけるPCV底部への横アクセスを先行させる観点から、RPV内の燃料デブリ取り出し方法を検討することが望ましい。</li> </ul>	【実施されている研究課題】					
			廃炉・汚染水対策事業「燃料デブリ・炉内構造物の取り出しに向けた技術の開発」					
			廃炉・汚染水対策事業「燃料デブリ・炉内構造物の取り出し工法・システムの高度化」					
			廃炉・汚染水対策事業「燃料デブリ・炉内構造物の取り出し基盤技術の高度化」					
			【検討されている研究課題】					
			特になし					
関連する課題		デブリ-201「燃料デブリと放射性廃棄物の仕分け」 デブリ-208「安定状態維持のための燃料の状況把握」 デブリ-214「デブリ回収戦略の構築」 デブリ-217「燃料デブリへのアクセスルートの構築」 デブリ-218「燃料デブリ取り出し装置・機器の開発」 デブリ-219「燃料デブリ取り出し加工時の安全性確保」 輸保貯-101「性状把握」 輸保貯-103「計量管理」 処-101「性状把握」 処-102「廃棄物戦略」						